


第3期海南市スポーツ推進計画

～スポーツを通じた元気・ふれあいのまちづくり～

令和8～14年度



令和8年3月

 海南市教育委員会

第3期海南市スポーツ推進計画

目次

第1章 策定にあたって	1
Ⅰ. 計画策定の目的	1
Ⅱ. 計画の位置づけ	1
Ⅲ. 計画の期間.....	2
Ⅳ. 計画の推進体制	2
第2章 海南市の現状と課題	3
Ⅰ. 統計に見る海南市	3
Ⅱ. アンケート調査の結果	4
Ⅲ. 第2期計画 指標の達成状況	13
Ⅳ. 現状と課題.....	16
第3章 理念と施策	17
Ⅰ. 基本理念.....	17
Ⅱ. 計画の体系.....	17
Ⅲ. 施策目標と具体施策	18
施策目標1. 子どもの運動習慣づくりと体力の向上	18
施策目標2. 多様なニーズ・ライフステージに応じたスポーツ機会の提供の拡充.....	20
施策目標3. 地域の特性を活かしたスポーツ環境づくり	22

資 料 編	24
--------------------	-----------

第1章 策定にあたって

I. 計画策定の目的

スポーツは、身体を動かすことによる健康及び体力の保持増進とともに、爽快感や達成感、他者との連帯感等の精神的な充足感、自律心の涵養等を得ることができ、ひいては生涯にわたって心身ともに健康で文化的な生活を営むうえで不可欠なものとなっています。また、スポーツ基本法では「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利」と規定されています。

第2期計画策定時の令和2年、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス」という。）の世界的な規模での拡大により、人々の日常生活が一変し、計画期間中には、スポーツ活動どころか外出すらはばかられるような厳しい環境下での生活を送らざるを得なくなっていました。

新型コロナウイルスの影響下において、様々なスポーツ活動が中止・延期等を余儀なくされ、スポーツに親しむ機会が失われていった一方で、スポーツ関係者によりガイドラインが策定され、感染症対策を徹底し、無観客による大会の開催や入場制限など、工夫を凝らしながら、スポーツイベント等を開催するなど、スポーツを通じて、日常を取り戻す努力が続けられてまいりました。

そのような中、国では令和4年3月にスポーツに係る施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「第3期スポーツ基本計画」が策定されました。

和歌山県においては、平成30年4月に策定された「和歌山県スポーツ推進計画」について、スポーツ基本計画及び和歌山県教育振興基本計画の見直しを受け、令和5年6月に社会情勢の変化などを検証した上で、令和9年までの計画改定を実施しています。

このような法制度や社会情勢の変化を踏まえ、全ての市民がスポーツに親しむ環境整備を進め、「本市のスポーツの推進」と「スポーツを通じた元気・ふれあいのまちづくり」を引き続き推進していくため、「第2期海南市スポーツ推進計画」の見直しを行い、「第3期海南市スポーツ推進計画」を策定いたします。

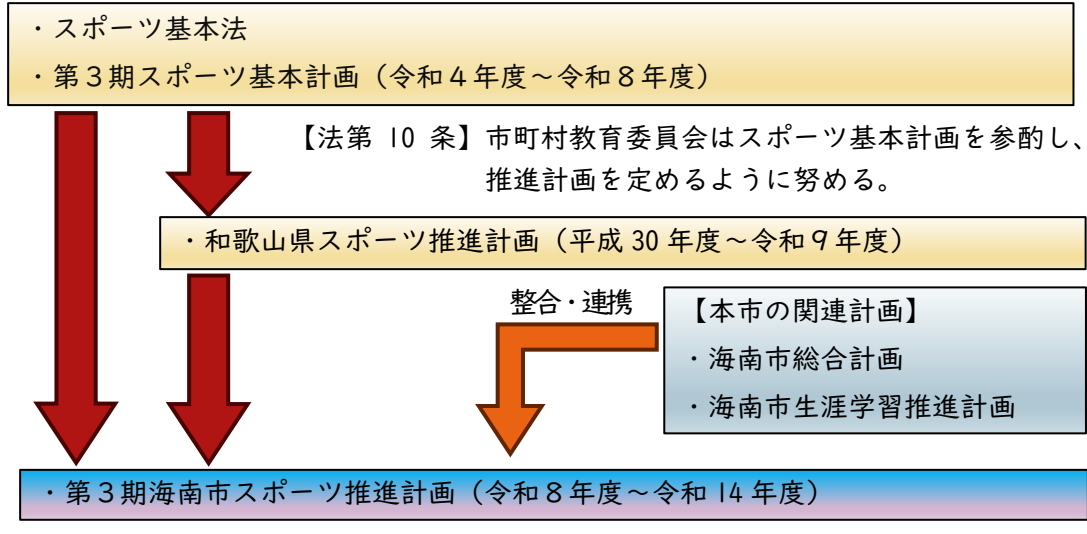
II. 計画の位置づけ

本計画は、「スポーツ基本法」の基本理念にのっとり、スポーツ施策に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、本市の特性に応じたスポーツ施策を実施するため、国の「第3期スポーツ基本計画」を参酌し、本市の実情に即したスポーツの推進に関する計画です。

内容については、令和3年3月に策定した「第2期海南市スポーツ推進計画」の成果、進捗を確認したうえで見直しを行い、今後の本市のスポーツ推進の在り方、施策等の方向性を定めるものとします。

加えて、「海南市総合計画」や、「海南市生涯学習推進計画」などの関連する計画と整合性を持たせるものとし、関連する計画の改定があった場合や、社会情勢や進捗状況及び市民ニーズの変化などにより、本計画の見直しが必要となった場合は、海南市スポーツ推進審議会に諮問する等、適切に対応することとします。

●第3期スポーツ推進計画の位置づけ

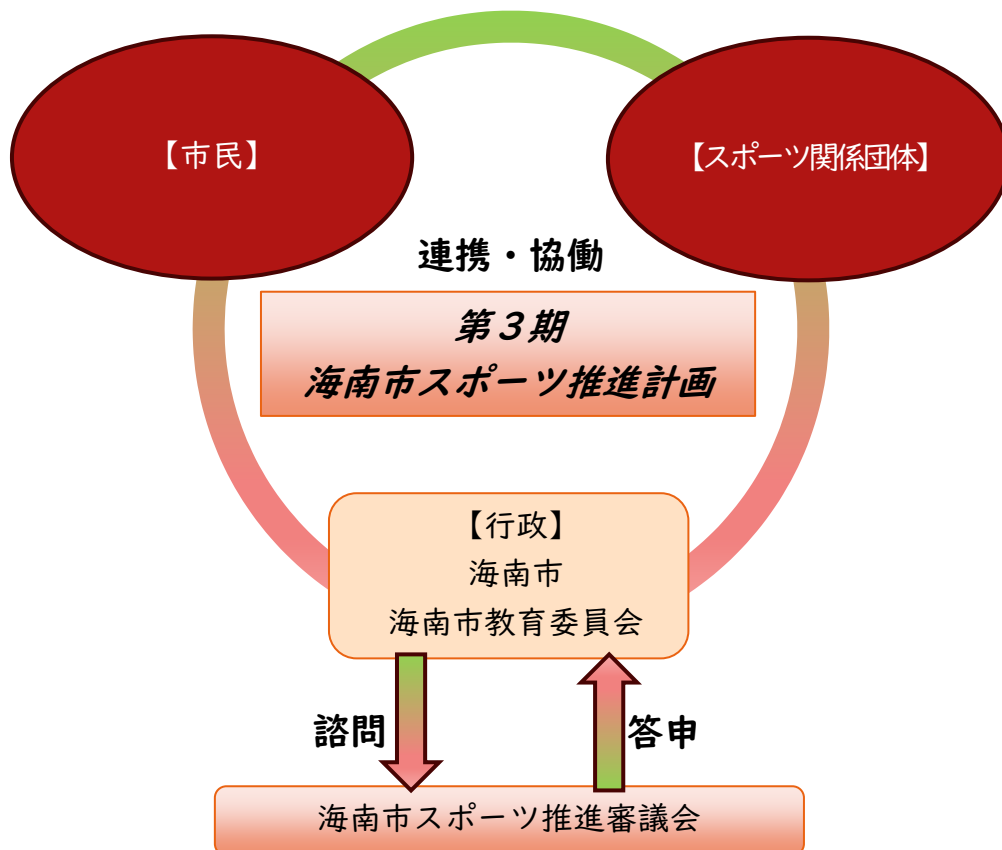


Ⅲ. 計画の期間

本計画は、令和8年度から令和14年度までの7年間を計画期間とします。

Ⅳ. 計画の推進体制

本計画を推進するにあたっては、以下のとおり、行政、市民、各種スポーツ団体など関連する各機関と連携・協働を図りながら推進していくこととします。



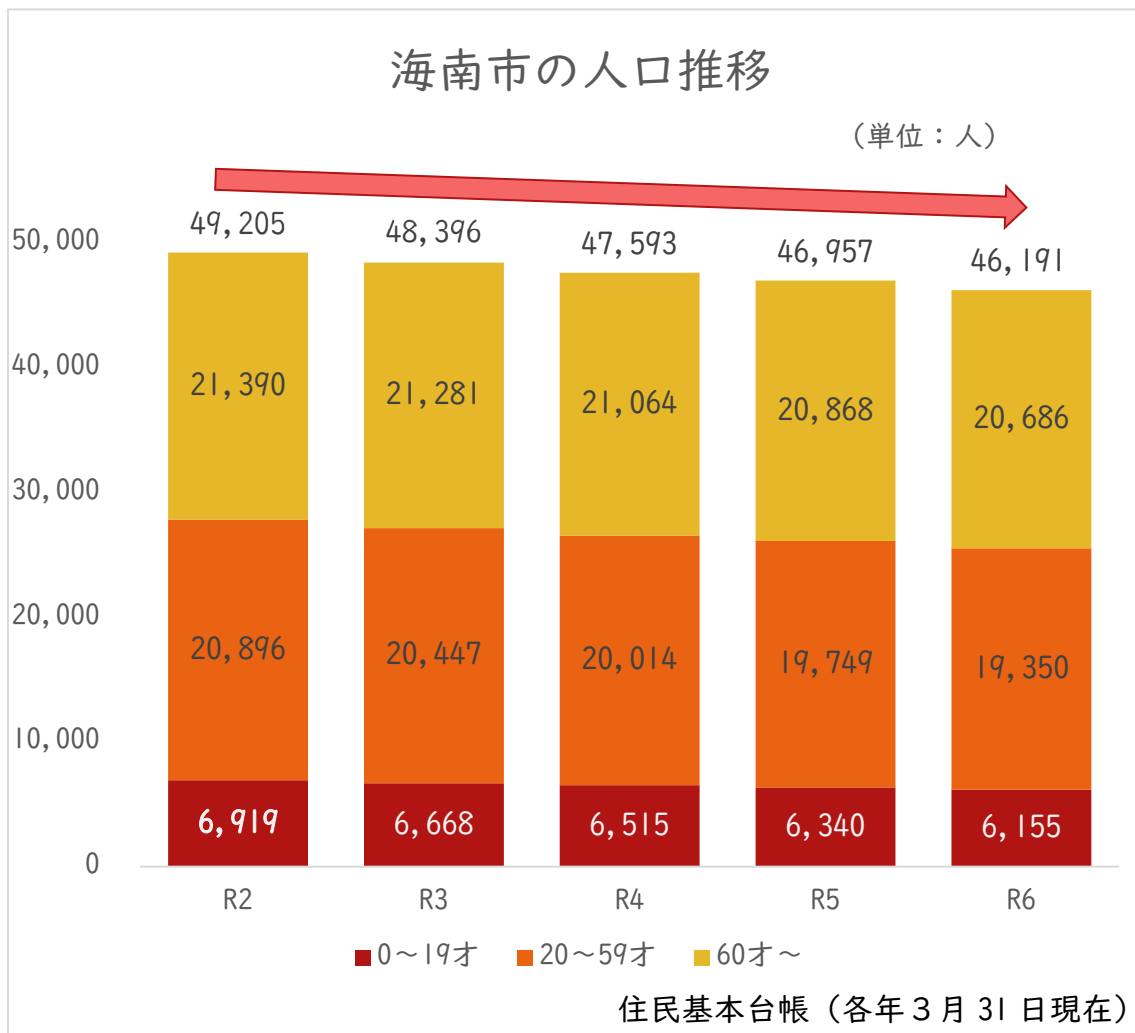
第2章 海南市の現状と課題

I. 統計に見る海南市

人口推移

海南市の人口の推移をみると、令和2年度では49,205人であったのが、令和6年度には46,191人になっており、この5年間で3,014人（6.1%）減少しています。

年齢別でみると20歳未満は6,919人から6,155人と764人減少しており、11.0%減少したことになります。この少子高齢化の影響により、市民のスポーツに対するニーズも変化し、新たなニーズに応じた施策の実施や、関係団体の連携が必要となると予想されます。



- ・令和2年と比べると令和6年には、海南市の人口が6.1%減（▲3,014人）
- ・20歳未満では、11%減（▲764人）となっており、少子化が進んでいる。

Ⅱ. アンケート調査の結果

第3期海南市スポーツ推進計画の策定にあたり、「海南市民のスポーツ意識に関する調査」（以下「アンケート調査」という。）を実施しました。

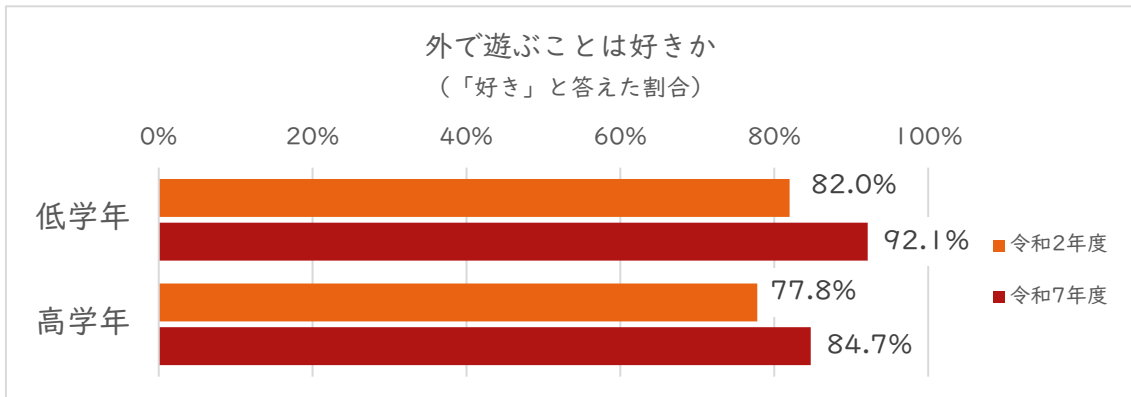
今回のアンケート調査については、アンケート調査の実施形態の面で変更を加え、WEBフォームを通じてオンラインで回答できるようにしました。特に小・中学生を対象としたアンケート調査はWEBフォームを通じた回答方法に誘導しました。それに伴い、前回と比較して回答率が減少したことを考慮する必要がありますが、現時点における本市のスポーツライフの指標の一つとします。

- ・調査対象 令和7年5月1日現在、海南市内小・中学校に通学する小・中学生
令和7年6月1日現在、海南市に居住する18歳以上80歳未満の男女を等間隔無作為抽出（抽出ソフト使用）
- ・調査期間 小・中学生：令和7年6月23日～7月15日、9月16日～9月30日
成人：令和7年7月15日～7月31日

・発送・回収数

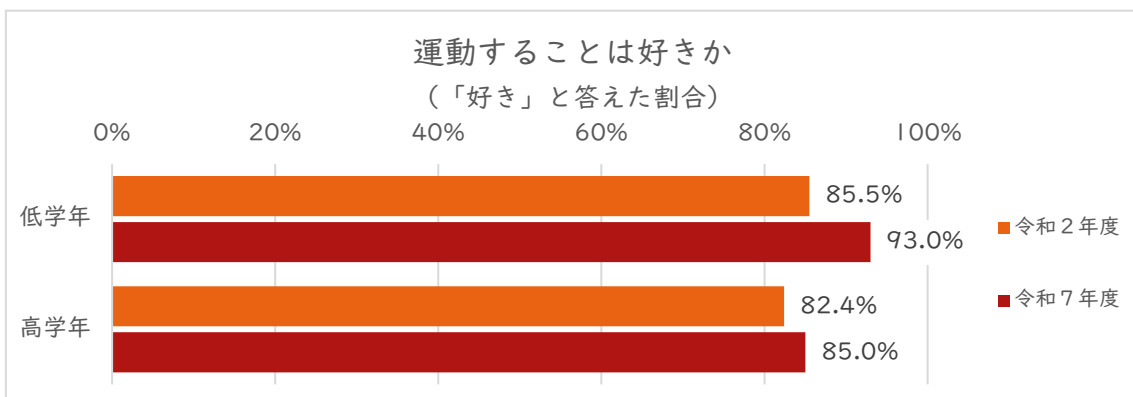
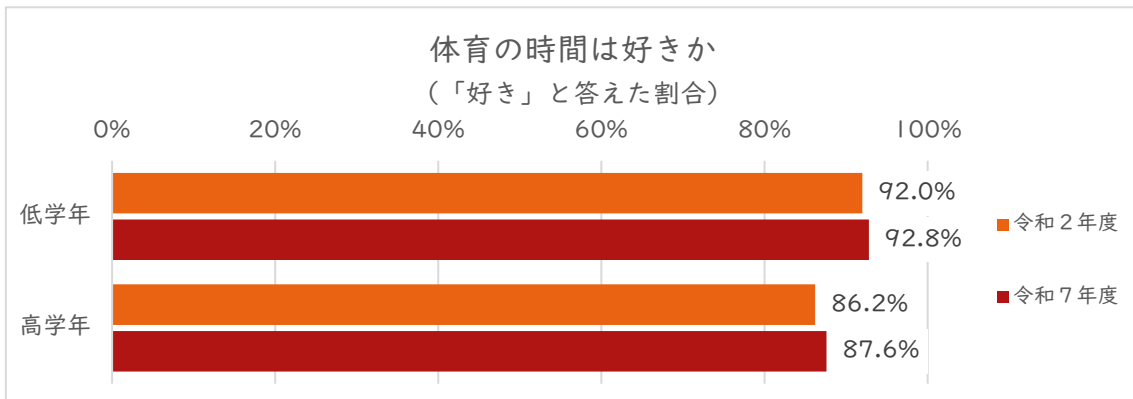
対象	発送数	回収数	回収率
小学生	1,799	1,240	68.9%
中学生	927	587	63.3%
成人	1,200	431	35.9%

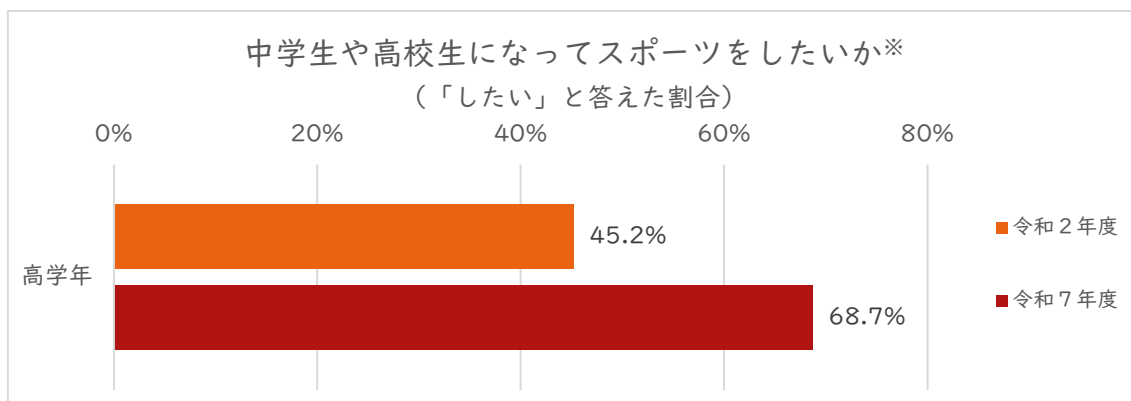
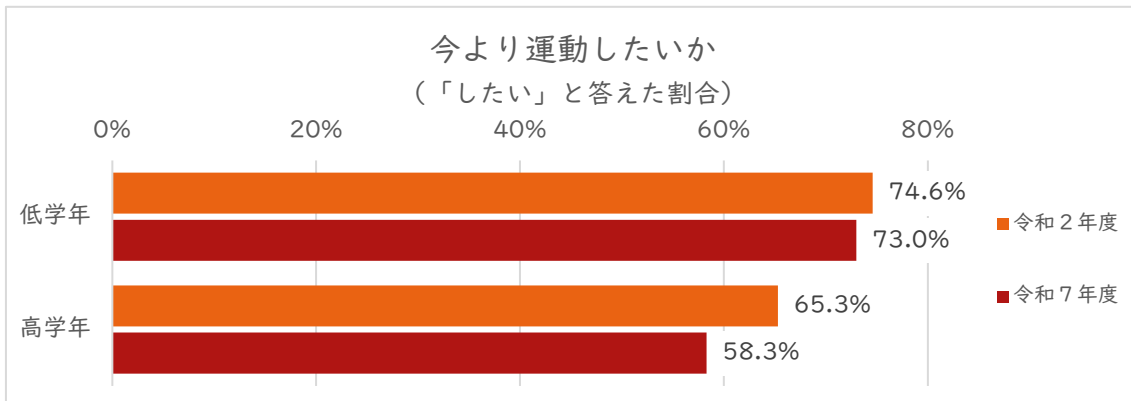
小学生



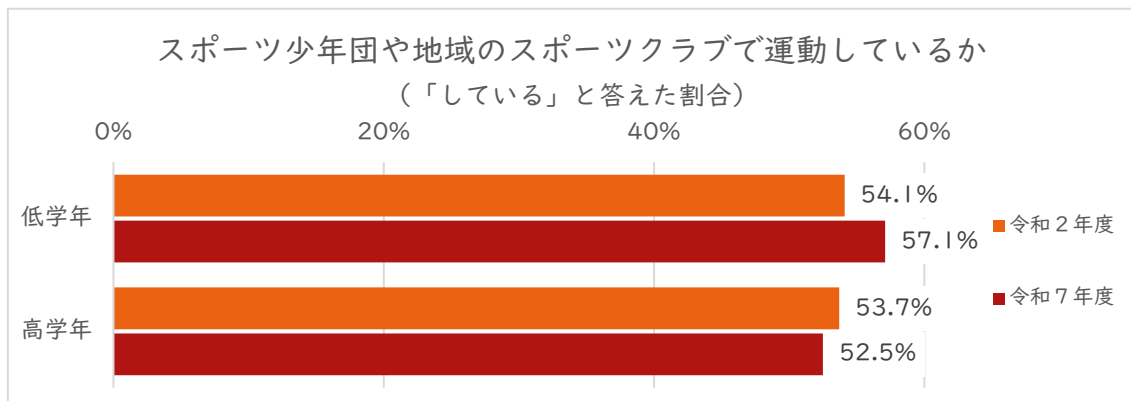
外で遊ぶ時間帯 (各時間帯で遊ぶかとの問いに「はい」と答えた割合)

		令和2年度	令和7年度	増減
低学年	学校の休み時間	73.6%	83.1%	9.5
	家に帰ってから	34.9%	48.4%	13.5
	学校が休みの日	63.8%	74.5%	10.7
高学年	学校の休み時間	56.8%	65.5%	8.7
	家に帰ってから	39.5%	40.9%	1.4
	学校が休みの日	56.5%	49.9%	-6.6





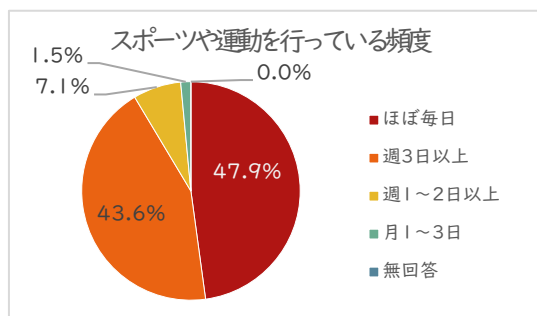
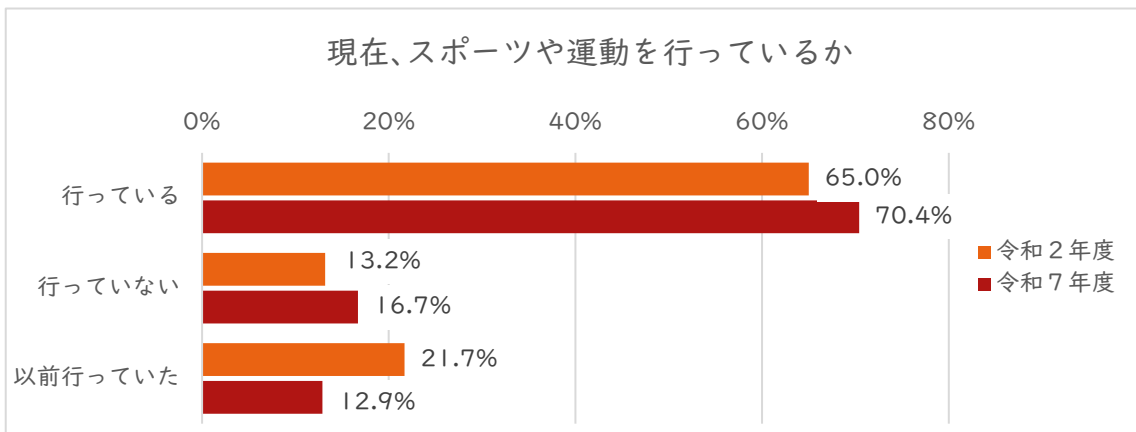
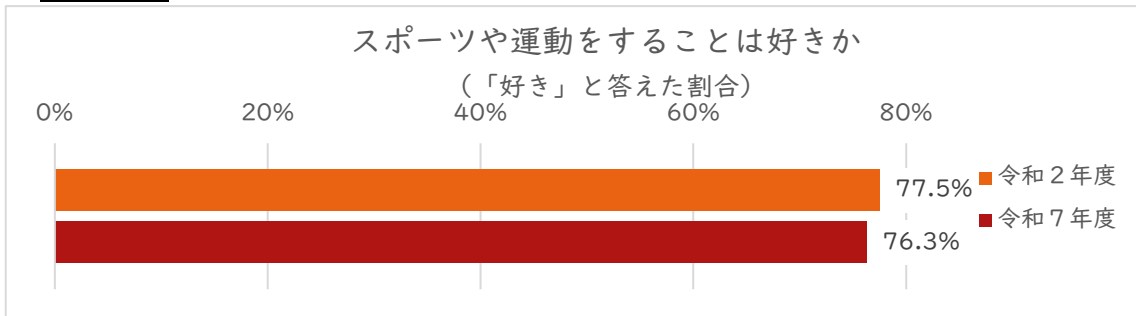
※令和2年度「大きくなったらスポーツをしたいか」から設問文を変更。



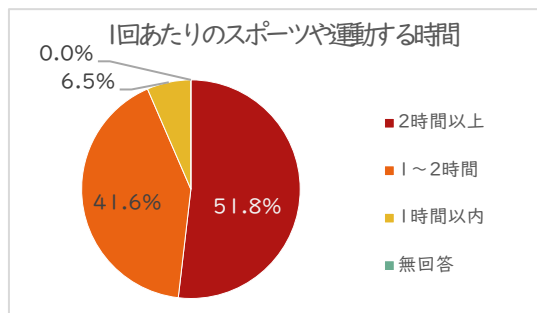
【考 察】

- ・全体としては運動が好きな割合（外遊び、体育、運動が好き）が増加している。
- ・今よりも運動したい割合は減少している。
- ・地域のスポーツクラブ等への加入率は微増だがほぼ横ばい。

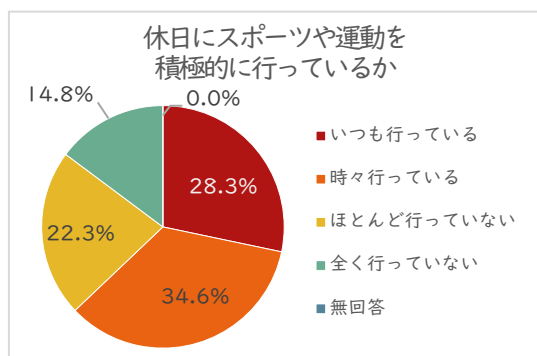
中学生



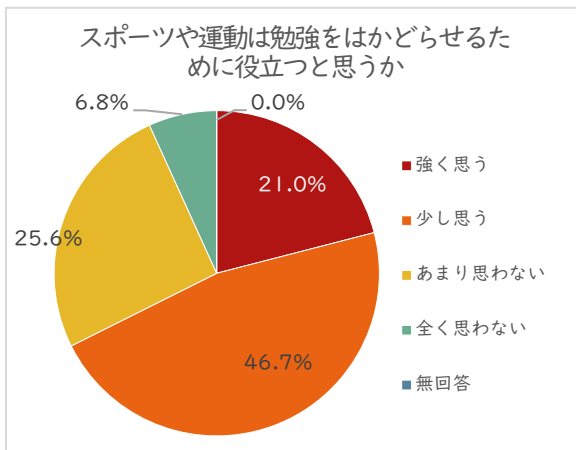
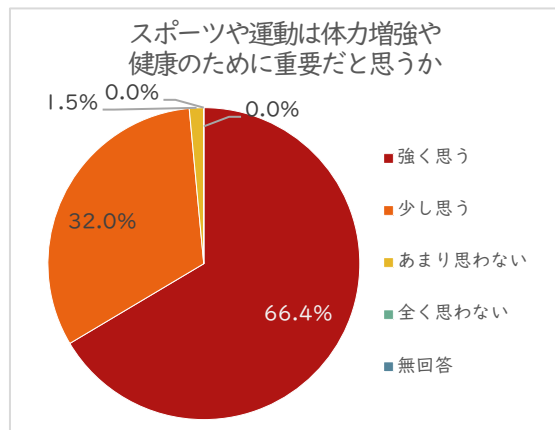
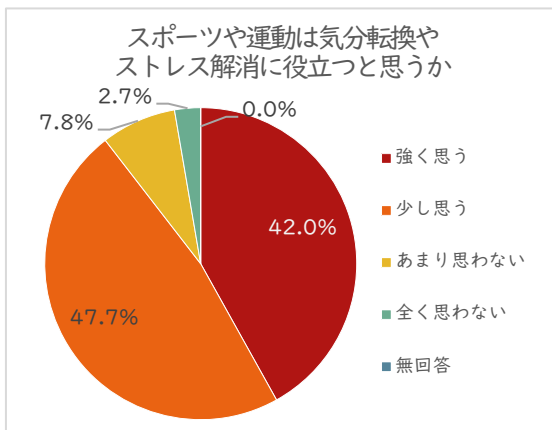
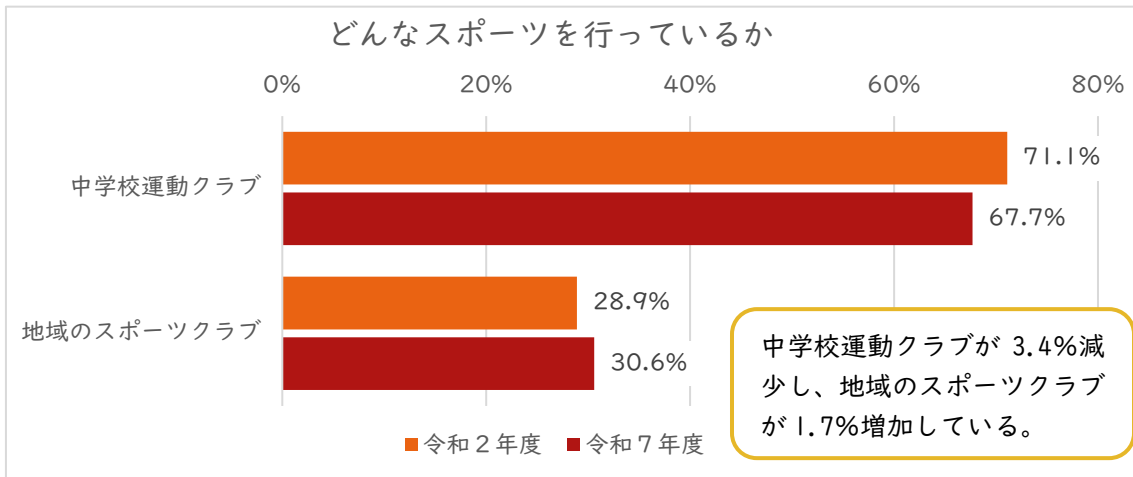
	令和2年度	令和7年度	増減
ほぼ毎日	62.4%	47.9%	-14.5
週3日以上	27.9%	43.6%	+15.7
週1~2日	9.1%	7.1%	-2.0
月1~3日	0.6%	1.5%	+0.9
無回答	0.0%	0.0%	0.0



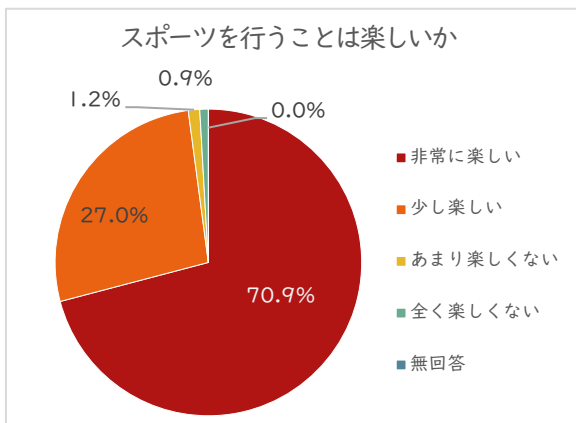
	令和2年度	令和7年度	増減
2時間以上	51.7%	51.8%	+0.1
1~2時間	42.8%	41.6%	-1.2
1時間以内	5.5%	6.5%	+1.0
無回答	0.0%	0.0%	0.0



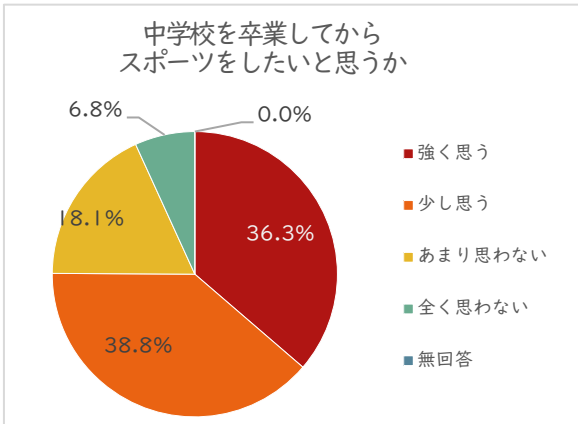
	令和2年度	令和7年度	増減
いつも行っている	28.2%	28.3%	+0.1
時々行っている	44.2%	34.6%	-9.6
ほとんど行っていない	19.5%	22.3%	+2.8
全く行っていない	8.1%	14.8%	+6.7
無回答	0.0%	0.0%	0.0



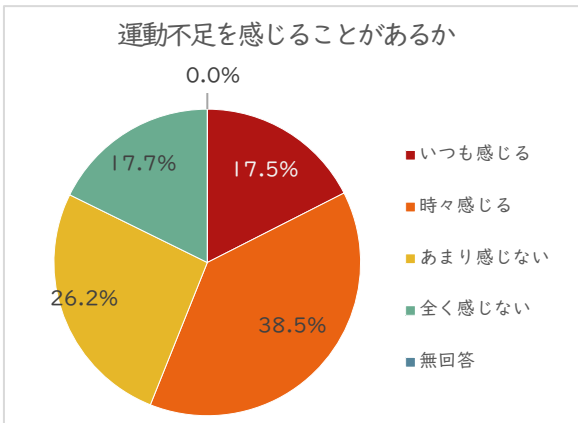
半数以上が、スポーツや運動が健康やストレス解消、勉強にも良い影響を与えていると思っている。



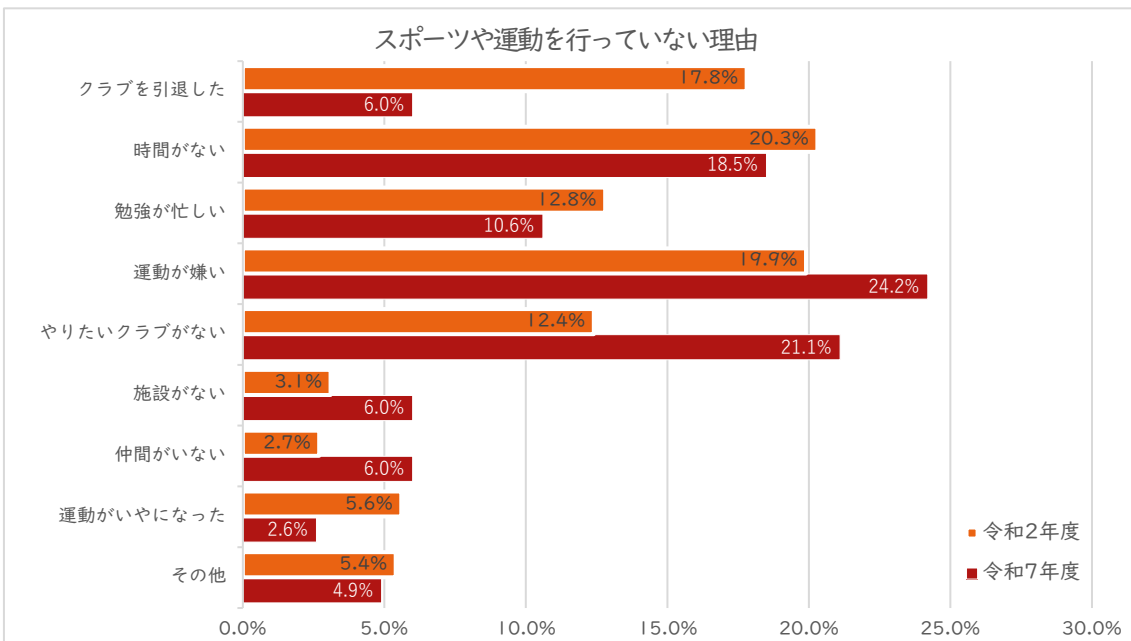
	令和2年度	令和7年度	増減
非常に楽しい	67.8%	70.9%	+3.1
少し楽しい	29.4%	27.0%	-2.4
あまり楽しくない	1.5%	1.2%	-0.3
全く楽しくない	1.3%	0.9%	-0.4
無回答	0.0%	0.0%	0.0



	令和2年度	令和7年度	増減
強く思う	25.6%	36.3%	+10.7
少し思う	28.7%	38.8%	+10.1
あまり思わない	16.6%	18.1%	+1.5
全く思わない	7.0%	6.8%	-0.2
無回答	22.1%	0.0%	-22.1



	令和2年度	令和7年度	増減
いつも感じる	13.0%	17.5%	+4.5
時々感じる	53.5%	38.5%	-15.0
あまり感じない	21.0%	26.2%	+5.2
全く感じない	12.5%	17.7%	+5.2
無回答	0.1%	0.0%	-0.1

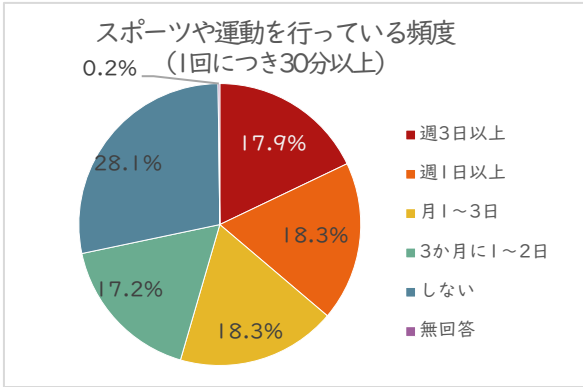


【考察】

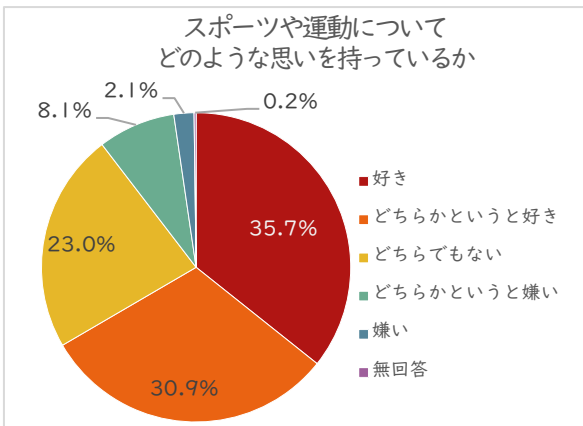
- ・スポーツを行っている割合、楽しいと感じる割合は増加している。
- ・運動が健康やストレス解消、勉強にも良い影響を与えていると思っている。
- ・運動不足を感じる割合は、「いつも感じる」がやや増加し、「時々感じる」がかなり減少している。
- ・運動をしない理由として、「やりたいクラブがない」「施設がない」など、中学生を取り巻く環境を要因とする項目で増加が見られる。

成人

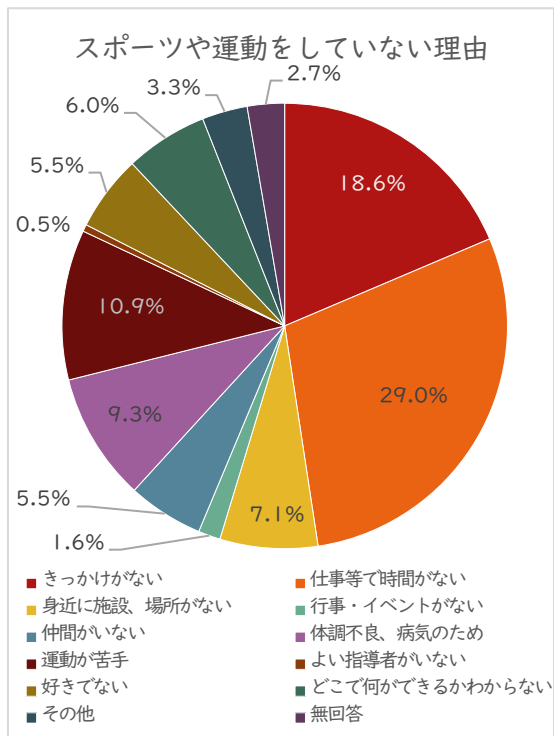
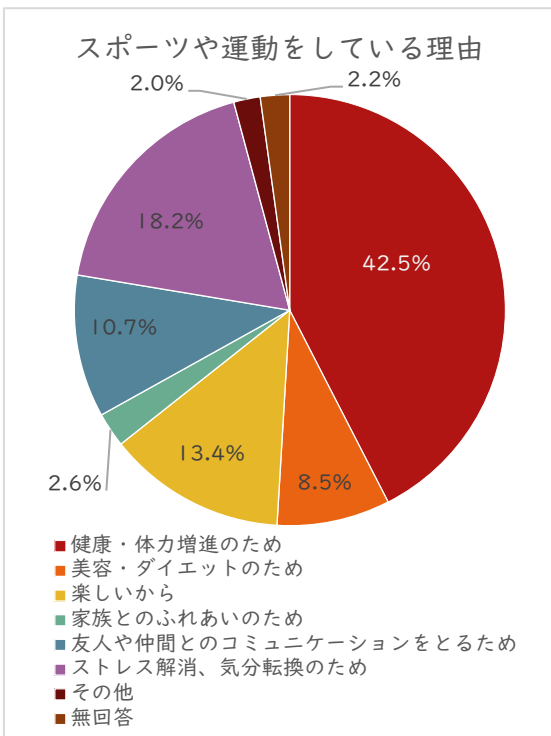
国の「第3期スポーツ基本計画」では、成人の週1回以上のスポーツ実施率を70%程度にすることを目標としています。本市の週1回以上（週3回以上を含む）のスポーツ実施率は36.2%となっています。

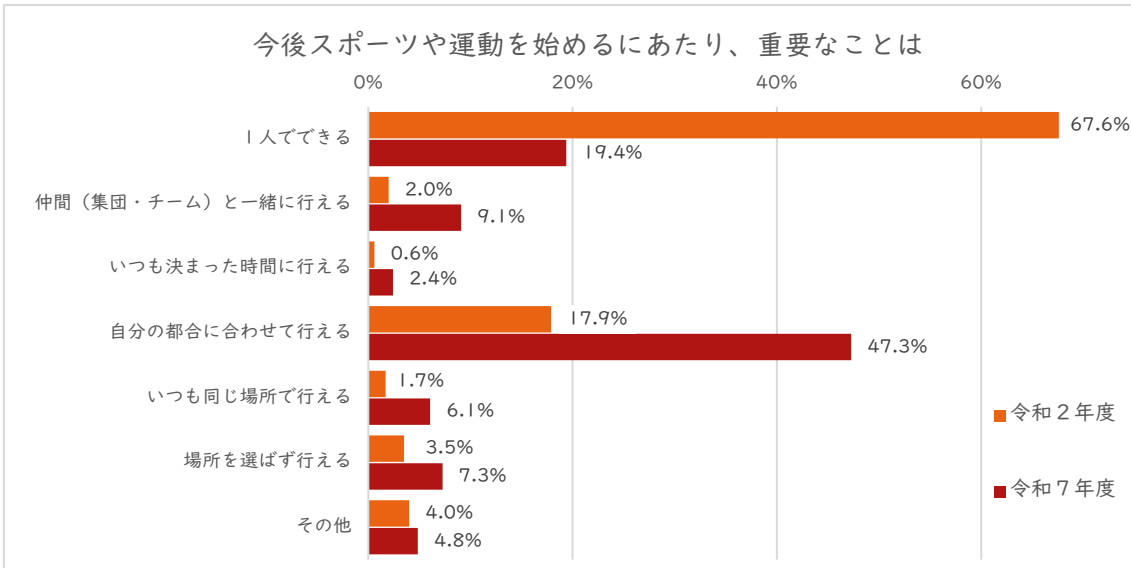


	令和2年度	令和7年度	増減
週3回以上	22.2%	17.9%	-4.3
週1回以上	15.3%	18.3%	+3.0
月に1~3回	19.0%	18.3%	-0.7
3か月に1~2回	18.4%	17.2%	-1.2
しない	25.1%	28.1%	+3.0
無回答	0.0%	0.2%	+0.2



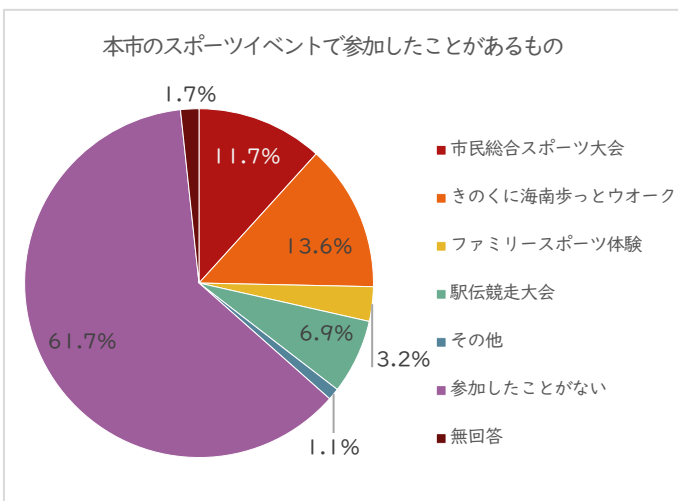
	令和2年度	令和7年度	増減
好き	33.7%	35.7%	+2.0
どちらかという好き	31.2%	30.9%	-0.3
どちらでもない	23.1%	23.0%	-0.1
どちらかという嫌い	9.4%	8.1%	-1.3
嫌い	2.0%	2.1%	+0.1
無回答	0.6%	0.2%	-0.4



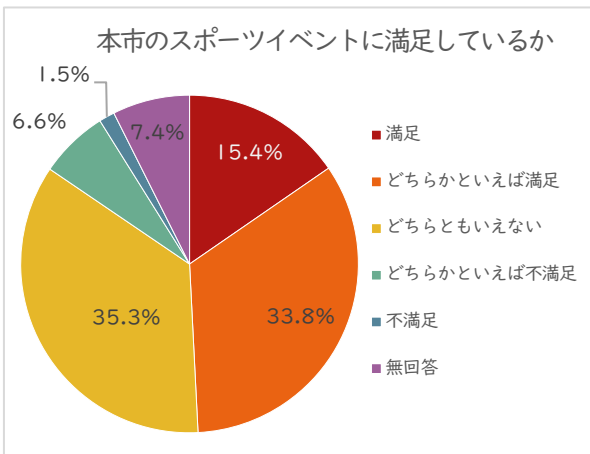


「運動・スポーツについてどのような思いを持っているか」の問いでは、約3分の2（「好き」35.7%+「どちらかという好き」30.9%）がスポーツに良い印象を持っています。

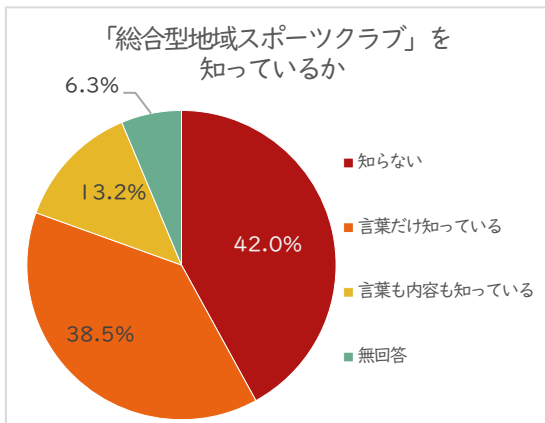
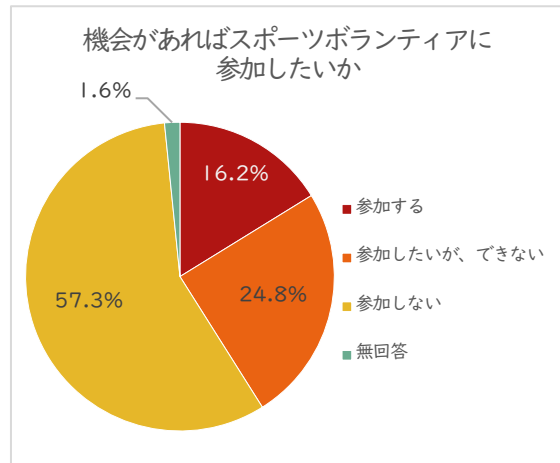
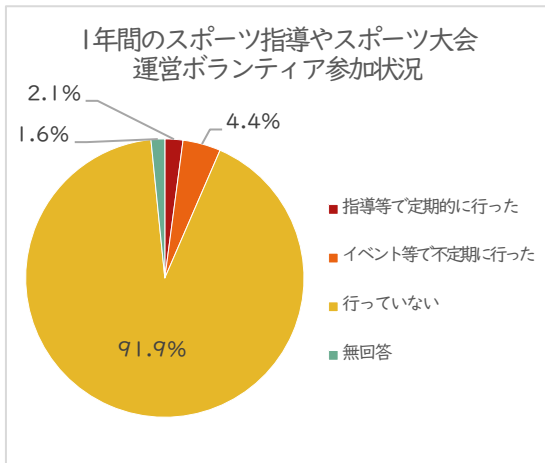
スポーツや運動をしていない理由として多かったのは、「仕事等で時間がない」29.0%、「きっかけがない」18.6%でした。今後スポーツを始めるにあたり重要なことは「自分の都合に合わせて行える」が30%近く増加しており、優先事項が感染症対策を意識したもののから変わりつつあることが伺えます。



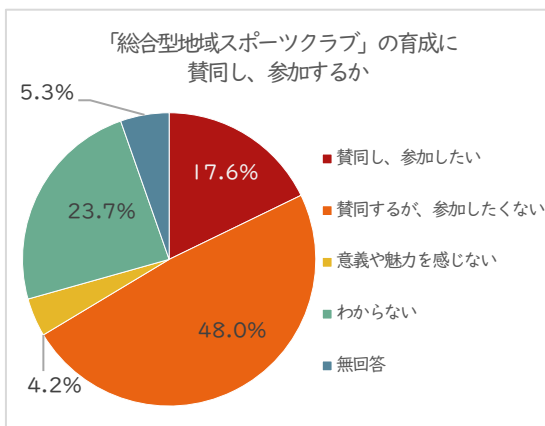
	令和2年度	令和7年度	増減
市民総合スポーツ大会	11.4%	11.7%	+0.3
きのくに海南歩つとウオーク	12.3%	13.6%	+1.3
ファミリースポーツ体験	2.1%	3.2%	+1.1
駅伝競走大会	7.3%	6.9%	-0.4
その他	0.4%	1.1%	+0.7
参加したことがない	61.2%	61.7%	+0.5
無回答	6.3%	1.7%	-4.6



	令和2年度	令和7年度	増減
満足	18.9%	15.4%	-3.5
どちらかといえば満足	37.8%	33.8%	-4.0
どちらともいえない	34.3%	35.3%	+1.0
どちらかといえば不満足	4.2%	6.6%	+2.4
不満足	0.7%	1.5%	+0.8
無回答	4.2%	7.4%	+3.2



	令和2年度	令和7年度	増減
知らない	44.3%	42.0%	-2.3
言葉だけ知っている	36.3%	38.5%	+2.2
言葉も内容も知っている	14.1%	13.2%	-0.9
無回答	5.3%	6.3%	+1.0



	令和2年度	令和7年度	増減
賛同し、参加したい	22.7%	17.6%	-5.1
賛同するが、参加したくない	44.1%	48.0%	+3.9
意義や魅力を感じない	3.7%	4.2%	+0.5
わからない	24.3%	23.7%	-0.6
無回答	5.1%	5.3%	+0.2

スポーツボランティアには、日常的なスポーツ指導・運営ボランティアや、イベント開催時のボランティア等がありますが、「行っていない」が91.9%、機会があっても「参加しない」が57.3%となっています。総合型地域スポーツクラブについても認知度は上がっていますが、その育成に「賛同し、参加したい」の割合が低く、「ささえるスポーツ」への理解・普及が必要な状況です。

【考察】

- ・スポーツを行っている割合はやや減少している。
- ・スポーツを行っていない人は、「一人で、自分の都合で実施したい」という意向が強い。
- ・本市のスポーツイベントに対して、参加率は横ばいだが、満足度はやや減少している。
- ・スポーツボランティアなど「ささえるスポーツ」に対する理解・普及が必要と考えられる。

Ⅲ. 第2期計画 指標の達成状況

「(第2期) 海南市スポーツ推進計画」では、3つの施策目標の進捗状況を図るために、施策目標ごとに成果指標と目標値を設定し、施策の進捗状況を把握することとしました。第2期計画の指標の達成状況は、以下のとおりとなっています。

[施策目標 1. 子どもの運動習慣づくりと体力の向上]

指標① 子どもの体力・運動能力テストの数値^{※1}

	基準値 ^{※2} (令和元年度)		目標値 (令和7年度)	現状値 (令和7年度)	達成状況
小学5年生	男	51.3	全国平均を 上回る	52.9	+2.9
	女	52.3		51.4	+1.4
中学2年生	男	50.1		49.7	-0.3
	女	50.6		48.6	-1.4

※1: 全8種目の合計点のTスコア(全国平均を50とした場合の相対的な位置)による。

※2: 令和2年度はコロナの影響で、実施できない種目があったため、令和元年度の数値とする。

指標② 運動好きな子どもの割合(小・中学生)^{※3}

基準値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)	現状値 (令和7年度)	達成状況
80.8%	85.0%	88.2%	+3.2%

※3: 海南市民のスポーツ意識に関する調査の小・中学生の平均値とする。

指標③ スポーツ少年団や地域のスポーツクラブで運動している割合^{※4}

基準値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)	現状値 (令和7年度)	達成状況
53.9%	60.0%	54.8%	-5.2%

※4: 海南市民のスポーツ意識に関する調査(小学校低学年と高学年の平均)

【考察】

指標①子どもの体力・運動能力テストの数値については全国平均値50.0を上回ることを目標にしてきた結果、小学生では全国平均を上回り、中学生では全国平均を下回る結果となりました。

指標②運動好きな子どもの割合(小・中学生)については85.0%を目標とし、+3.2%の結果となりました。引き続き、小さい頃からの運動習慣づくりが必要であると考えられます。

指標③スポーツ少年団や地域のスポーツクラブで運動している子どもの割合については、目標値に届いておらず、引き続き周知に努めていく必要があります。

[施策目標 2. ライフステージに応じたスポーツ機会の提供]

指標④ 週1回30分以上の運動（散歩も含む）やスポーツを行っている割合（％）※5

基準値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)	現状値 (令和7年度)	達成状況
47.7%	55.0%	52.0%	-3.0%

※5：海南市総合計画基本計画に関する市民アンケート

指標⑤ スポーツ施設（社会体育施設）の利用人数（人）

基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	現状値 (令和6年度)	達成状況
411,104人	420,000人	403,481人	-16,519人

※令和6年度…下津室内プールの修繕工事のため約1か月休館

拝待体育館の改修工事のため約2か月休館

市民温水プールの改修工事のため約1か月休館

市民運動場の改修工事のため約1か月休館

【考 察】

指標④週1回30分以上の運動（散歩も含む）やスポーツを行っている割合については、目標値である55%には到達できていませんが、増加しつつあることがわかります。

指標⑤スポーツ施設（社会体育施設）の利用人数については、目標値には届きませんでした。これは、工事による休館が影響したと考えられます。



[施策目標3. 地域の特性を活かしたスポーツ環境づくり]

指標⑥ スポーツイベントの満足度 (%)

基準値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)	現状値 (令和7年度)	達成状況
56.7%	65.0%	49.2%	-15.8%

海南市民のスポーツ意識に関する調査

指標⑦ スポーツイベントに参加したことがある割合 (%)

基準値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)	現状値 (令和7年度)	達成状況
38.8%	50.0%	36.5%	-13.5%

海南市民のスポーツ意識に関する調査

【考 察】

指標⑥スポーツイベントの満足度については、目標値を15.8%下回り、目標に届いていません。本市のスポーツイベントは、きのくに海南歩っとうオークの地域による「おもてなし」などが特徴であり、引き続き地域と連携した事業を実施し、地域の魅力を発信する機会とすることが重要だと考えられます。

指標⑦スポーツイベントの参加率についても、目標値を下回る結果となりました。本市のスポーツイベントでは参加者が減少の傾向にあり、引き続き、イベントの魅力アップと周知を進めていく必要があります。



IV. 現状と課題

アンケート調査の結果と第2期計画の指標の達成状況、今後のスポーツ施策を考えるうえで影響がある「人口減少」「少子高齢化」そして、新型コロナウイルス感染症などの影響による「社会情勢の変化」などを踏まえ、本市の現状と課題を以下のように整理しました。

1. 低年齢からの運動習慣・体力づくり

アンケートでは小学校で運動や外遊び、体育の授業が好きな割合が増加しており、体力テストの数値も全国平均を上回っています。一方で、中学校では運動が好きな割合は微減であり、体力テストの数値は全国平均を下回る結果で、基礎的な運動能力の低下がみられます。

子どもの「運動が好き」という感情を損なうことなく運動習慣・体力づくりを進めていくために、低年齢期から親子でスポーツができる環境づくり、就学後においては学校と地域におけるスポーツの機会づくりの充実を図る必要があります。

2. 多様なニーズ、ライフステージに対応したスポーツ機会の提供

この5年間で人口が6.1%、20歳未満の人口では11.0%減少するなど、少子高齢化が進行しています。また、新型コロナウイルス感染症や猛暑等の影響により、我々のライフスタイルは大きく変化し、スポーツに対するニーズもさらに多様化していくことが予想されます。

今後は、それぞれのライフスタイルや、ライフステージに応じてスポーツに取り組むことができる環境づくりが重要であると考えられるため、引き続き、スポーツ施設の計画的な整備やスポーツ情報の提供を進めるとともに、新しいライフスタイルに対応したスポーツイベントの在り方についても検討していく必要があります。

3. 「ささえるスポーツ」による多様なスポーツ参画の推進

アンケートでは、「スポーツボランティアを行ったことがない」割合が91.9%を占め、「今後も参加しない」と考えている割合も57.3%となっています。

スポーツには、「する」だけでなく、「みる」ことによる感動や、「ささえる」ことによる共感・交流など様々な効果があり、「スポーツを通じた地域づくり」を進めるために、地域それぞれの特性を活かしたスポーツイベントを実施していくとともに、多様なスポーツ参画を広めていく必要があります。

4. 各種団体の連携によるスポーツ環境づくり

小・中学生の保護者へのアンケートで、子どもがスポーツ活動を始めるうえで重視する点は「仲間と一緒にできる」が最多となりました。ニーズに応えながら競技スポーツの水準を向上させ、生涯スポーツを推進していくためにも、各小・中学校や地域のスポーツクラブ、各競技団体が連携を図りながら協働し、身近なスポーツ環境を構築していく必要があります。

第3章 理念と施策

I. 基本理念

スポーツ基本法では、スポーツの内在的な価値とともに、青少年の健全育成や、地域社会の再生、心身の健康の保持増進などスポーツの果たす役割の重要性が示されています。

第3期海南市スポーツ推進計画においても、引き続き、「だれもが、いつでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた元気・ふれあいのまちづくり」を基本理念として、人口減少や少子高齢化、社会情勢の変化に対応しながら、スポーツの力で地域に活力が生まれ、健康で明るいまちの実現を目指します。

基本理念

だれもが、いつでも、いつまでもスポーツに親しむことができる
生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた元気・ふれあいのまちづくり

II. 計画の体系

計画の体系については、第2期計画の基本的な構造を踏襲し、本市の現状と課題を反映させたうえで、施策目標、具体施策などの見直しを行いました。

課題

1. 子どもの運動習慣づくり

2. 多様なニーズ、ライフステージに対応したスポーツ機会の提供

3. 「みる」「ささえあう」スポーツによる多様なスポーツ参画の推進

4. 各種団体の連携によるスポーツ環境づくり

基本理念

だれもが、いつでも、いつまでもスポーツに親しむことができる
生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じた元気・ふれあいのまちづくり

施策目標

(1)子どもの運動習慣づくりと体力の向上

(2)多様なニーズ・ライフステージに応じたスポーツ機会の提供の拡充

(3)地域の特性を活かしたスポーツ環境づくり

具体施策

① 子どもの運動習慣づくり

② 青少年スポーツの推進

① 幅広い対象の健康増進と体力向上

② 競技スポーツの推進

③ 誰もが参画しやすいスポーツ機会の提供

① 多様な参画による地域スポーツイベントの推進

② スポーツ施設の整備・充実

③ 指導者の育成・支援、各種団体の連携の促進

Ⅲ. 施策目標と具体施策

施策目標Ⅰ. 子どもの運動習慣づくりと体力の向上

今回のアンケート調査及び指標の結果では、小・中学生では外遊びを含む運動に対して好意的な意見が多い反面、小学生では、現状以上の運動をすることを希望する割合が減少の傾向にあります。

また、本市の子どもの体力は、前計画策定時の数値と比べ低下しているとともに、全国平均を下回る結果となっています。これは、新型コロナウイルスの影響から、ライフスタイルが変化したことが要因の一つだと考えられますが、現在の子どもの体力を維持・向上していくためには、幼児期からの運動や外遊びを奨励するなど、継続的な運動習慣づくりが重要です。このことから、低年齢期においては親子でスポーツができる環境づくり、就学後は、学校や地域における子どもの成長過程に応じたスポーツ機会の充実に努めることとします。

《成果指標》

指標①	現状値(令和7年度)	目標値(令和14年度)
子どもの体力・運動能力テストの数値	小学5年男子 52.9	全国平均(50.0)を上回る
	小学5年女子 51.4	
	中学2年男子 49.7	
	中学2年女子 48.6	

(全8種目の合計点のTスコア(全国平均を50とした場合の相対的な位置))

指標②	現状値(令和7年度)	目標値(令和14年度)
運動が好きな子どもの割合	88.2%	90.0%

(海南市民のスポーツ意識に関する調査)

指標③	現状値(令和7年度)	目標値(令和14年度)
スポーツ少年団や地域のスポーツクラブで運動している割合(中学校部活動含む)	60.0%	70.0%

(海南市民のスポーツ意識に関する調査(小学生と中学生の平均))



《具体施策》	子どもの運動習慣づくり	
<p>●幼児期の身体活動の促進 幼稚園での体力アップセミナーの実施や家庭教育支援事業で実施している親子で参加する体操教室など、幼児期から身体を動かす機会づくりを行います。</p> <p>●学校における体育活動の充実 子どもの運動離れに歯止めをかけ、運動への親しみを持たせる取り組みや、体育活動の充実、保護者への啓発等を行うための「子ども体力アップ推進事業」などを実施し、小学校では体力向上を目指した、教員の指導力向上のための研修会の開催や、中学校では体力・運動能力テストのデータ分析などを行い、体育や部活動などでの指導に活かすように努めます。</p> <p>●体験活動の充実 様々な体験を通じて、生涯にわたって運動に親しむ基礎を培うため、親子スポーツの普及や多世代が交流できるスポーツイベントの開催に努めます。</p>		
《対象事業》	家庭教育支援事業	(担当課:生涯学習課)
	子ども体力アップ推進事業	(担当課:学校教育課)
	ファミリースポーツ推進事業	(担当課:生涯学習課)

《具体施策》	青少年スポーツの推進	
<p>●地域でのスポーツ活動の支援 地域での青少年のスポーツ活動は、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどが主な活動の場であることから、子どもの身近なスポーツ環境の整備が必要です。各団体の活動支援に加え、団体間の連携を強化し、子どもたちが様々なスポーツに取り組める環境づくりに努めます。また、スポーツを行う習慣が身についていない子どもへのスポーツの習慣化に繋げていくためのきっかけづくりなども行い、地域でのスポーツ活動を支援します。</p> <p>●中学校部活動の支援 中学校部活動への外部指導者の派遣、公式大会への生徒の旅費補助などを行い、また、体育施設の学校部活動への積極的活用を促すなど、中学校部活動の推進に努めます。</p> <p>●中学校部活動の地域展開 少子化の進行等により、中学校部活動を取り巻く環境の変化に対応するため、これまで、中学校部活動が果たしてきた役割を継承し、将来にわたって子どもたちが主体的に選択し、それぞれの志向に応じた、多様な活動に参加できる機会の確保に努めます。</p>		
《対象事業》	スポーツ少年団事業	(担当課:生涯学習課)
	総合型地域スポーツクラブ推進連絡会議事業	(担当課:生涯学習課)
	ファミリースポーツ推進事業	(担当課:生涯学習課)
	運動部活動指導者派遣事業	(担当課:学校教育課)
	部活動振興補助事業	(担当課:学校教育課)
	中学校運動部競技力強化事業	(担当課:生涯学習課)
	中学校部活動地域展開事業	(担当課:学校教育課・生涯学習課)

施策目標 2. 多様なニーズ・ライフステージに応じたスポーツ機会の提供の拡充

国の「第3期スポーツ基本計画」では、“性別、年齢、障害の有無、経済的事情、地域事情等にかかわらず、全ての人々がスポーツにアクセスできるような社会の実現・気運の醸成を目指す”という、新たな視点が提示されています。本市においても、「だれもが、いつでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現」のため、それぞれのライフスタイルや、ライフステージに応じてスポーツに親しむことができる機会の提供をすすめます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響等により、我々のライフスタイルは大きく変化し、スポーツに対するニーズも、今後、さらに多様化していくことが予想されるなか、多様なニーズに応じたスポーツ情報の提供に努めます。

《成果指標》

指標④	現状値(令和7年度)	目標値(令和14年度)
週1回30分以上の運動(散歩も含む)やスポーツを行っている割合(%)	52.0%	60.0%

(海南市総合計画基本計画に関する市民アンケート)

指標⑤	現状値(令和7年度)	目標値(令和14年度)
本市のスポーツイベントに参加したことがある割合(%)	36.5%	50.0%

(海南市民のスポーツ意識に関する調査)

《具体施策》	幅広い対象の健康増進と体力向上	
<p>●高齢者の健康づくり</p> <p>高齢者の健康寿命を伸ばすための取り組みとして、身近なところで気軽に運動を体験する機会の増加を図り、高齢者の健康増進・体力向上に取り組みます。またその際には、総合型地域スポーツクラブなどと連携し、より効果の高い事業の実施に取り組みます。</p> <p>●多様な対象へのスポーツ機会の提供</p> <p>ビジネスパーソンや女性、子育て世代など様々なライフステージの方々が、そのライフスタイルに応じて気軽に参加できる運動・スポーツの教室等を実施し、多様なスポーツ機会の提供に努めます。また、スポーツイベントなどを開催する際には「バリアフリー化」を図り、障害のある人と障害のない人が同じ場所で運動・スポーツができる環境づくりに努めます。</p>		
《対象事業》	生きがい教室開催事業	(担当課：生涯学習課)
	地域健康づくり事業	(担当課：健康課)
	一般介護予防事業	(担当課：高齢介護課)
	障害者スポーツ大会等事業	(担当課：社会福祉課)

《具体施策》	競技スポーツの推進								
<p>●競技スポーツの推進</p> <p>トップアスリートや、地元出身のスポーツ選手の活躍を「みる」ことにより、感動と活力をもらうことができるのがスポーツの力であり、様々なステージで活躍する選手を育成するためには、行政と関係団体の連携が重要です。このため、市スポーツ協会や各種団体との連携を強化し、スポーツ大会や研修会の開催などを支援します。</p> <p>●スポーツ指導者・選手の育成</p> <p>スポーツ選手の育成・指導に寄与した指導者や、競技において優秀な成績を収めた選手を称えスポーツ賞を授与するなど、スポーツ指導者・選手の育成に努めます。</p> <p>●中学校部活動の地域展開(再掲)</p> <p>少子化の進行等、中学校部活動を取り巻く環境の変化に対応するため、これまで、中学校部活動が果たしてきた役割を継承し、将来にわたって子どもたちが主体的に選択し、それぞれの志向に応じた、多様な活動に参加できる機会の確保に努めるとともに、ニーズに応じた人材の発掘・育成に取り組めます。</p>									
《対象事業》	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="472 846 957 907">海南ジュニアランニングチャレンジ開催事業</td> <td data-bbox="957 846 1359 907">(担当課：生涯学習課)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 907 957 967">市町村対抗ジュニア駅伝競走大会選手派遣事業</td> <td data-bbox="957 907 1359 967">(担当課：生涯学習課)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 967 957 1028">スポーツ賞表彰事業</td> <td data-bbox="957 967 1359 1028">(担当課：生涯学習課)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 1028 957 1075">中学校部活動地域展開事業</td> <td data-bbox="957 1028 1359 1075">(担当課：学校教育課・生涯学習課)</td> </tr> </table>	海南ジュニアランニングチャレンジ開催事業	(担当課：生涯学習課)	市町村対抗ジュニア駅伝競走大会選手派遣事業	(担当課：生涯学習課)	スポーツ賞表彰事業	(担当課：生涯学習課)	中学校部活動地域展開事業	(担当課：学校教育課・生涯学習課)
海南ジュニアランニングチャレンジ開催事業	(担当課：生涯学習課)								
市町村対抗ジュニア駅伝競走大会選手派遣事業	(担当課：生涯学習課)								
スポーツ賞表彰事業	(担当課：生涯学習課)								
中学校部活動地域展開事業	(担当課：学校教育課・生涯学習課)								

《具体施策》	誰もが参画しやすいスポーツ機会の提供		
<p>●多様なニーズに応じたスポーツを楽しむ機会の確保</p> <p>「する」スポーツだけでなく、「みる」「ささえあう」というスポーツの楽しみ方を含めた、スポーツイベント等の在り方を検討します。</p> <p>●情報通信技術を活用したスポーツの機会の創出</p> <p>VRやAR等を活用したりリモートでも楽しめるようなプログラムや、デジタル技術を活用した新たなスポーツ実施機会の創出について、検討します。</p> <p>●情報発信の充実</p> <p>社会環境の変化から、運動・スポーツに対するニーズも変化しています。このような多種多様なニーズに対応し、より多くの市民に参加してもらえよう、運動・スポーツに関するイベント等の情報提供に努めます。</p>			
《対象事業》	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="472 1653 957 1713">情報発信事業</td> <td data-bbox="957 1653 1359 1713">(担当課：生涯学習課)</td> </tr> </table>	情報発信事業	(担当課：生涯学習課)
情報発信事業	(担当課：生涯学習課)		



施策目標 3. 地域の特性を活かしたスポーツ環境づくり

国の「第3期スポーツ基本計画」では、“スポーツを「つくる・はぐくむ」、また、“「あつまり」、「ともに」活動し、「つながり」を感じながらスポーツに取り組める社会の実現を目指す”という、新たな観点も提示されました。スポーツは「する」だけでなく、「みる」ことで感動し、活力をもらい、「ささえあう」ことで多くの人が交流し、より強い社会の絆を創り出すことができます。本市においても、そのスポーツの力を活かした地域の特色ある事業を実施し、スポーツを通じた地域の活性化に努めます。

また、既存のスポーツ施設は、建設から長い期間が経過しているものも多いため、利用者の安全確保、より快適な利用を確保するための環境整備に努めます。

《成果指標》

指標⑥	現状値(令和7年度)	目標値(令和14年度)
スポーツイベントの満足度(%)	49.2%	65.0%

(海南市民のスポーツ意識に関する調査)

指標⑦	現状値(令和6年度)	目標値(令和13年度)
スポーツ施設(社会体育施設)の利用人数(人)	403,481人	420,000人

《具体施策》	多様な参画による地域スポーツイベントの推進	
●スポーツイベントによる地域の絆づくり スポーツには「する」だけでなく、「みる」・「ささえあう」という面からも、様々な効果が期待できるため、「スポーツボランティア」など地域の方々の多様な参画のもと地域スポーツイベントを開催し、スポーツによる地域づくりを進め、人と人、地域と地域の交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するなど、地域の活性化に寄与できるようスポーツにおける好循環を創出します。		
《対象事業》	きのくに海南歩くとウォーク開催事業	(担当課：生涯学習課)
	海南市駅伝競走大会開催事業	(担当課：生涯学習課)



《具体施策》	スポーツ施設の整備・充実	
	<p>●スポーツ施設の整備・充実</p> <p>既存のスポーツ施設は、建設から長い期間が経過しているものも多く、利用者の安全を確保するとともに、気候変動に対応した機能の充実など、安全で快適にスポーツに取り組むための、修繕・改修・バリアフリー化を計画的に行い、施設の機能強化を図ります。また、施設の維持管理においては、指定管理者制度を導入し、専門的知識やノウハウを持つ民間事業者等を指定し、サービスの向上を図っていくことで、施設の設置目的を効果的・効率的に達成することを目指します。</p> <p>●学校体育施設の活用</p> <p>市民の身近なスポーツ施設である学校体育施設の維持改修等の整備を計画的に行い、その活用を積極的に推進します。</p>	
《対象事業》	社会体育施設整備事業	(担当課：生涯学習課)
	社会体育施設維持管理事業	(担当課：生涯学習課)
	学校体育施設開放促進事業	(担当課：生涯学習課)

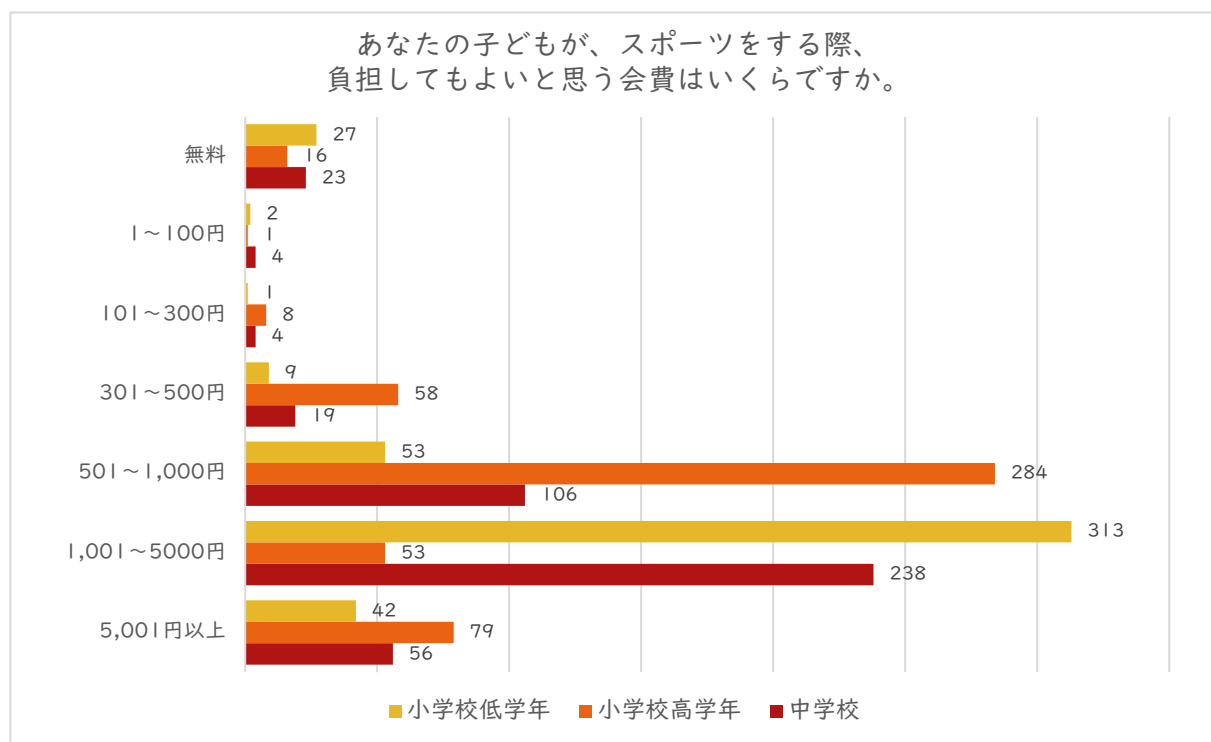
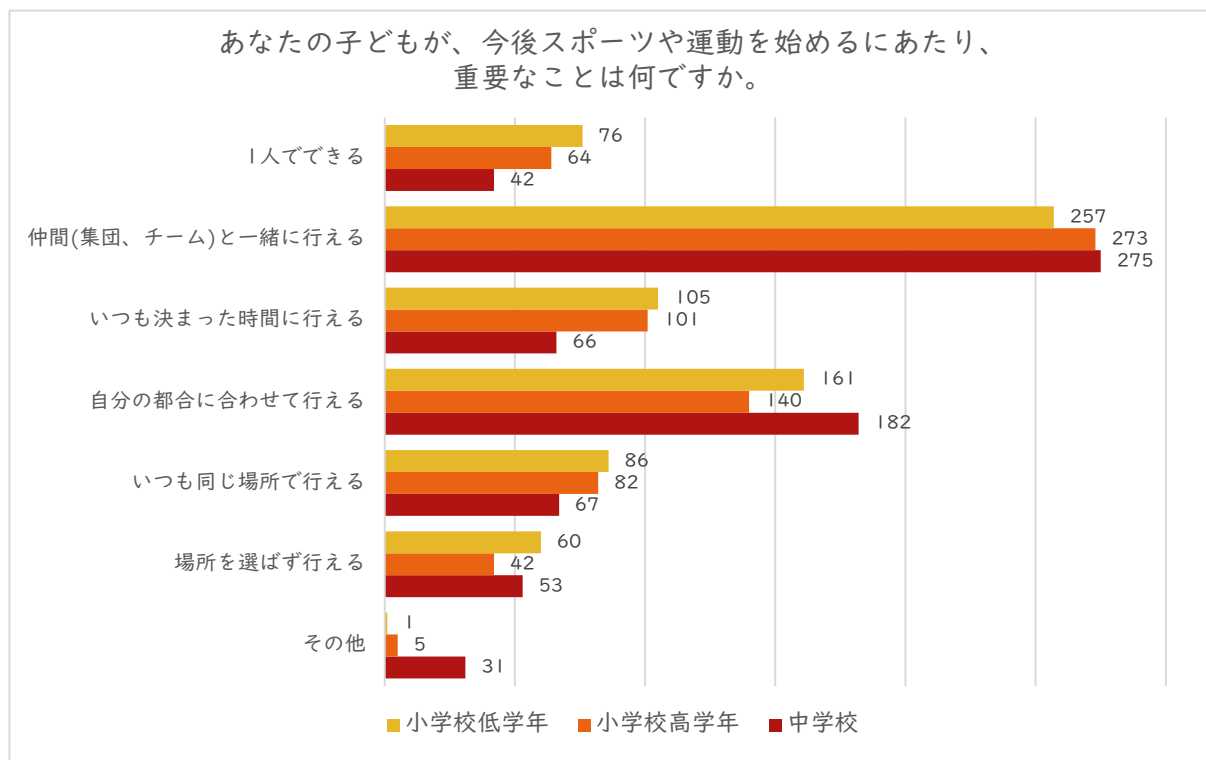
《具体施策》	指導者の育成・支援、各種団体の連携の促進	
	<p>●スポーツ関係団体の支援</p> <p>本市のスポーツ協会(令和6年度までは体育協会)は、30団体から構成されており、競技力向上やスポーツ人口の拡大のため様々な事業を実施しています。また、市内の総合型地域スポーツクラブでは、「多世代」「多志向」「多種目」をテーマにした多様な活動を展開しており、各団体の活動を支援し、競技スポーツ及び生涯スポーツの振興を図ります。</p> <p>●関係団体の連携強化</p> <p>少子高齢化や社会情勢の変化により、スポーツに対するニーズの多様化が見られるなか、ニーズに応じたスポーツ事業を実施することができるよう関係団体の連携強化を図ります。</p> <p>●多様なニーズに対応した指導者等人材の育成・支援</p> <p>少子高齢化や社会情勢の変化に伴い、スポーツに対する志向が多様化するとともに、指導者等に対するニーズも多様化しています。</p> <p>関係団体間の連携を通じ、ニーズの多様化に対応した指導者等の人材育成に取り組めます。</p>	
《対象事業》	競技団体活性化事業	(担当課：生涯学習課)
	総合型地域スポーツクラブ推進連絡会議事業 (担当課：生涯学習課)	



資料編

保護者アンケートの結果

「海南市民のスポーツ意識に関する調査」の中で、小・中学生の保護者に対するアンケート調査を実施した結果です。



海南省スポーツ協会

(旧海南省体育協会 (令和 7 年 4 月 24 日名称変更))

海南省スポーツ協会は、令和 7 年 12 月現在、協会や連盟などの 30 競技団体から組織され、昭和 31 年 4 月 1 日発足以来、半世紀以上にも亘って本市のスポーツ振興を目的に活動している市内最大のスポーツ団体です。

各種競技会開催はもとより、その組織力を活かしたスポーツ大会運営支援により、市民に密着したスポーツ活動を展開しています。

海南省スポーツ推進委員会

海南省スポーツ推進委員会は、スポーツ基本法 (平成 23 年法律第 78 号) 第 32 条に基づき、海南省教育委員会から非常勤の公務員として委嘱されるスポーツ推進委員により組織された団体です (平成 17 年 4 月 1 日発足、平成 23 年 11 月 16 日現在の名称に変更)。

令和 7 年 12 月現在 26 名の委員が活動し、スポーツイベントの企画・調整、海南省駅伝競走大会の役員など、本市の主要な各種イベントにおける運営及び補助を行い、重要な役割を担っています。

海南省スポーツ少年団指導者協議会

スポーツ少年団は、「スポーツによる青少年の健全育成」を目的に、小・中学生を中心に組織されている日本最大の青少年スポーツ団体です。

活動は主に小学校単位で行われており、本市には年間を通じて一つの種目を行う単一種目型がほとんどです。

市内では、令和 7 年 8 月現在で 22 団が活動しており、各団の指導者で海南省スポーツ少年団指導者協議会を組織し (平成 18 年 4 月 1 日に旧称の海南省スポーツ少年団代表者連絡協議会発足、平成 26 年 4 月 30 日に現在の名称に変更)、スポーツ少年団事業を行っています。

海南省総合型地域スポーツクラブ推進連絡会議

海南省総合型地域スポーツクラブ推進連絡会議は、市内に拠点を置く総合型地域スポーツクラブ関係者により、市民へのスポーツ機会の提供やスポーツによるまちづくり活動をととしてスポーツコミュニティ形成を促進し、地域スポーツの振興に寄与することを目的に組織された団体です (平成 24 年 11 月 12 日発足)。

海南市スポーツ協会 加盟団体（全 30 団体）

海南市軟式野球連盟	海南市少年野球連盟
海南市ソフトバレーボール協会	海南サッカー協会
海南市バレーボール協会	海南市バスケットボール協会
海南市ソフトテニス連盟	海南市テニス協会
海南市卓球協会	海南市バドミントン協会
和歌山県剣道連盟海南支部	和歌山県柔道連盟海南支部
海南市空手道連盟	海南市少林寺拳法協会
海南市躰道協会	和歌山県銃剣道連盟海南支部
合気道竹豊館海南道場	海南海草陸上競技協会
海南市水泳協会	海南市ゲートボール協会
海南市グラウンドゴルフ協会	海南武術太極拳連盟
海南市ダンススポーツ連盟	海南フットサル協会
日本拳法海南支部	ユニサイクル海南タートルズ
和歌山海南市パークゴルフ協会	海南海草ソフトバレーボール連盟
海南市スポーツ少年団指導者協議会	海南トランポリン協会

（順不同）

海南市内の総合型地域スポーツクラブ（全 3 団体）

NPO 法人	スポーツ・リパブリック・ソラティオーラ和歌山	（平成 17 年 11 月設立）
NPO 法人	ゆうゆうスポーツクラブ海南	（平成 19 年 3 月設立）
NPO 法人	下津スポーツクラブ	（平成 20 年 3 月設立）

海南市内のスポーツ少年団一覧（全 22 団体）

主な活動競技・種目	団名称（スポーツ少年団）	主な活動施設
野球 （全 6 団）	大野内海スポーツ少年団	内海小学校・大野小学校(運動場)
	亀川少年野球スポーツ少年団	亀川小学校運動場、東部運動場
	加茂仲良しクラブ	加茂川小学校・大東小学校・下津小学校(運動場)
	東海南少年野球クラブ	北野上小学校・中野上小学校(運動場)、東部運動場
	黒江日方野球クラブ	黒江小学校・日方小学校(運動場)
	巽ほがらか少年野球クラブ	巽小学校運動場
バレーボール （全 4 団）	S T A R S	下津小学校・加茂川小学校(体育館)、海南スポーツセンター
	J V C 下津	下津小学校体育館
	巽少女バレーボール	巽小学校体育館
	日方バレーボール	日方小学校体育館
サッカー （全 3 団）	海南フットボールクラブ	海南スポーツセンター、市民運動場
	下津サッカークラブ	下津小学校運動場
	巽少年少女サッカークラブ	巽小学校体育館・運動場、巽中学校体育館・運動場
剣道 （全 2 団）	海南弘道館	総合体育館、第三中学校体育館
	巽剣道教室	巽中学校体育館
日本拳法 （全 2 団）	日本拳法海南拳友会	総合体育館
	藪井道場	巽中学校体育館、下津第一中学校体育館
空手 （全 2 団）	海南市空手道スポーツ少年団	市民体育館、総合体育館
	下津空手スポーツ少年団	大東小学校体育館
躰道	和歌山躰道巽クラブ	総合体育館、巽小学校体育館、岡公園体育館
ソフトテニス	下津ジュニアソフトテニス	下津テニスコート、拝待体育館
柔道	海南柔道クラブ	総合体育館、海南警察署

（令和 7 年 8 月現在）

海南市の社会体育施設

施設名	所在地・連絡先	施設の概要
総合体育館	海南市大野中 1106 番地 TEL 483-4300	体育場 (バスケットボール2面・バレーボール2面・バドミントン6面) 第1体育室・第2体育室・トレーニング室・卓球室・研修室
市民体育館	海南市日方 1274 番地 TEL 483-4300 (総合体育館事務所)	体育場 (バレーボール1面・ソフトバレー3面・バドミントン3面)
拝待体育館	海南市下津町下津 500 番地 I TEL 492-4546	体育場 (バスケットボール2面・バレーボール2面・バドミントン6面・ソフトテニス2面)
市民運動場	海南市大野中 1006 番地 TEL 483-4300 (総合体育館事務所)	12,398 m ² (南北115m、東西110.5m) 夜間照明設備・本部席・観覧席 300 席 (球場として)本塁センター間122m、レフト97m、ライト93m
東部運動場	海南市木津 382 番地 TEL 487-4400	7,248 m ² 夜間照明設備
沖野マスポーツ広場	海南市沖野々 278 番地 I TEL 487-4400 (東部運動場事務所)	11,906 m ² 多目的広場
下津総合運動場	海南市下津町下 647 番地 TEL 492-3364 (生涯学習課)	17,879 m ² 多目的広場
市民テニスコート	海南市大野中 1106 番地 TEL 483-4300 (総合体育館事務所)	人工芝コート 2 面 夜間照明設備
東部テニスコート	海南市木津 382 番地 TEL 487-4400 (東部運動場事務所)	人工芝コート 6 面 夜間照明設備
下津テニスコート	海南市下津町上 14 番地 TEL 492-4546 (拝待体育館事務所)	人工芝コート 2 面 夜間照明設備
市民温水プール	海南市且来 1387 番地 3 TEL 483-8731	25m公認プール (6 コース)・チビッコプール 研修室
下津室内プール	海南市下津町方 453 番地 TEL 492-0276	25mプール (7 コース)
海南スポーツセンター	海南市船尾 260 番地 3 TEL 486-2870	人工芝コート (フットサル3面・ジュニアサッカー1面) 体育館・管理棟 (体育室・会議室・宿泊施設)

休館日…12月29日から翌年の1月3日まで。

但し、上記に加えて市民温水プールは毎週月曜日、下津室内プールは毎週水曜日。

計画の策定経過

日程	項目	主な内容
令和7年3月21日	令和6年度 海南市スポーツ推進審議会	○海南市スポーツ推進計画の見直しについて（諮問）
令和7年6月～8月	海南市民のスポーツ意識に関する調査の実施	○市民を対象にスポーツに関する状況を把握するためのアンケートを実施
令和7年8月25日	令和7年度 第1回海南市スポーツ推進審議会	○アンケート結果及び成果指標の達成状況について
令和7年11月25日	令和7年度 第2回海南市スポーツ推進審議会	○第3期海南市スポーツ推進計画（素案）について
令和7年12月25日	令和7年度 第3回海南市スポーツ推進審議会	○第3期海南市スポーツ推進計画（素案）について
令和8年1月16日	令和7年度 第4回海南市スポーツ推進審議会	○第3期海南市スポーツ推進計画について（答申）
令和8年1月23日	海南市教育委員会 1月定例会	○第3期海南市スポーツ推進計画（素案）について
令和8年1月26日 ～ 令和8年2月13日	パブリックコメントの実施	○第3期海南市スポーツ推進計画（案）についての意見募集
令和8年2月19日	海南市教育委員会 2月定例会	○パブリックコメントの結果について ○第3期海南市スポーツ推進計画について

海南市スポーツ推進審議会
会 長 瀬 川 禎 彦 様

海南市教育委員会
教育長 西 原 孝 幸

海南市スポーツ推進計画の見直しについて（諮問）

このことについて、海南市スポーツ推進審議会条例第 2 条の規定に基づき、下記のとおり諮問いたします。

記

諮問事項

令和 2 年 3 月に策定した「第 2 期海南市スポーツ推進計画」についての見直し

諮問理由

スポーツ基本法第 10 条第 1 項において、「都道府県及び市町村の教育委員会は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする。」とあります。

海南市においては、平成 23 年 3 月に、平成 23 年度から 10 年間を見据えた「海南市スポーツ振興基本計画」の策定以降、平成 27 年 3 月に「海南市スポーツ振興計画」を策定、更に、国の計画見直しや社会情勢の変化に対応するため、令和 2 年度に計画の見直しを図り、令和 2 年 3 月に令和 7 年度までの 5 年間を計画期間とした「第 2 期海南市スポーツ推進計画」を策定し、「子どもの運動習慣づくりと体力の向上」、「ライフステージに応じたスポーツ機会の提供」、「地域の特性を活かしたスポーツ環境づくり」を施策目標とし、様々な事業を展開しているところです。

この計画期間中、新型コロナウイルス感染症の拡大などの影響で、社会情勢は大きく変化し、人々のライフスタイルの多様化とともに、スポーツに対する意識も変容してきており、子どもたちの運動・スポーツ離れや体力・運動能力の低下傾向が危惧されています。

このような諸情勢を踏まえ、本市の実情に即した「第 2 期海南市スポーツ推進計画の見直し」について、検討する必要があるとあり、諮問いたします。

【検討すべき事項】

- 1 海南市のスポーツ推進について
- 2 その他

海 ス 推 審 第 9 号
令 和 8 年 1 月 16 日

海 南 市 教 育 委 員 会
教 育 長 西 原 孝 幸 様

海 南 市 ス ポ ー ツ 推 進 審 議 会
会 長 本 山 司

海 南 市 ス ポ ー ツ 推 進 計 画 の 見 直 し に つ い て (答 申)

令 和 7 年 3 月 21 日 付 け 海 教 生 第 612 号 で 諮 問 の あ り ま し た 「 海 南 市 ス ポ ー ツ 推 進 計 画 の 見 直 し 」 に つ い て 、 慎 重 に 審 議 し た 結 果 、 別 添 の と お り 答 申 い た し ま す 。

こ の 計 画 が 「 ス ポ ー ツ を 通 じ た 元 気 ・ ふ れ あ い の ま ち づ く り 」 の 実 現 を 図 る た め の 行 政 運 営 の 指 針 と な る こ と を 期 待 し ま す 。

な お 、 計 画 の 推 進 に 当 た っ て は 、 本 審 議 会 に お け る 意 見 を 十 分 に 尊 重 し 、 市 民 と の 協 働 の も と 、 計 画 の 着 実 な 実 現 に 努 め ら れ る よ う 要 望 し ま す 。

海南市スポーツ推進審議会委員名簿

(令和5年8月1日～令和7年7月31日)

役職	委員氏名	区分	所属等
会長	瀬川 禎彦	学識経験者	NPO 法人 下津スポーツクラブ 理事長
副会長	山部 進	学識経験者	海南市体育(スポーツ)協会 理事長 和歌山県柔道連盟海南支部 理事
委員	和田 通尚	関係行政機関	中学校体育連盟 巽中学校 校長
委員	阪口 貴史	関係行政機関	小学校体育連盟 大野小学校 校長
委員	山本 安雄	学識経験者	スポーツ少年団指導者協議会 会長
委員	本山 司	学識経験者	高野山大学 文学部 講師
委員	赤松 由美子	学識経験者	NPO 法人 ゆうゆうスポーツクラブ海南 事務局長
委員	奥野 修造	学識経験者	NPO 法人 スポーツ・リパブリック・ ソラティオーラ和歌山 指導者
委員	田林 由加	学識経験者	元 和歌山県体育協会 総合型地域 SC アドバイザー
委員	服部 祐介	学識経験者	医療法人 辻秀輝整形外科 事務長

(令和7年8月1日～)

役職	委員氏名	区分	所属等
会長	本山 司	学識経験者	高野山大学 文学部 講師
副会長	川村 栄司	学識経験者	海南市スポーツ協会 会長
委員	和田 通尚	関係行政機関	中学校体育連盟 第三中学校 校長
委員	阪口 貴史	関係行政機関	小学校体育連盟 大野小学校 校長
委員	山本 安雄	学識経験者	スポーツ少年団指導者協議会 会長
委員	小野田 元彦	学識経験者	NPO 法人 下津スポーツクラブ 理事長
委員	小西 保行	学識経験者	NPO 法人 ゆうゆうスポーツクラブ海南 理事
委員	奥野 修造	学識経験者	NPO 法人 スポーツ・リパブリック・ ソラティオーラ和歌山 指導者
委員	田林 由加	学識経験者	元 和歌山県体育協会 総合型地域 SC アドバイザー
委員	服部 祐介	学識経験者	医療法人 辻秀輝整形外科 事務長

第3期海南市スポーツ推進計画

発行

海南市教育委員会

〒649-0121

海南市下津町丸田 217-1

TEL : 073-492-3364

FAX : 073-492-3390

